

風戸研究奨励会 第八回(平成26年度)

<風戸賞>・<風戸研究奨励賞>

授賞式 開催報告

公益財団法人風戸研究奨励会（理事長 廣川 信隆）は、2015 年 2 月 28 日（土）、経団連会館において、第八回（平成 26 年度）<風戸賞>・<風戸研究奨励賞>授賞式を開催しました。

受賞者は下記の 4 名です。

<風戸賞>

- | | |
|---------|--|
| 末次 志郎 殿 | 奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス研究科 教授
「細胞膜の形態を制御するタンパク質ドメインの研究」 |
| 沢田 英敬 殿 | 日本電子株式会社
EM事業ユニット グループ長
「球面収差補正装置(Delta Corrector)および SRAM 収差計測法の開発」 |

<風戸研究奨励賞>

- | | |
|---------|--|
| 新岡 宏彦 殿 | 大阪大学
大学院 基礎工学研究科 助教
「光・電子相関顕微鏡法のためのプローブ開発と細胞イメージング応用」 |
| 斉藤 光 殿 | 東京工業大学
量子ナノエレクトロニクス研究センター 研究員
「STEM-CL によるプラズモン共振器中の発光増強機構の解明」 |

授賞式には、公益社団法人日本顕微鏡学会や研究機関、企業の研究者や各界の諸先輩、過去の受賞者の方など、多数の方にご参加頂き、盛会に開催されました。授賞式後には懇親パーティーを行い、歓談が弾み、貴重な交流の場となりました。ご参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

授賞式

理事長 挨拶

廣川 信隆（東京大学大学院特任教授）



授与式、受賞者ご挨拶

＜風戸賞＞ 末次 志郎 様



奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス研究科 教授

研究課題：

「細胞膜の形態を制御する
タンパク質ドメインの研究」

＜風戸賞＞ 沢田 英敬 様



日本電子株式会社
EM事業ユニット グループ長

研究課題：

「球面収差補正装置 (Delta Corrector) および
SRAM 収差計測法の開発」

＜風戸研究奨励賞＞ 新岡 宏彦 様



大阪大学
大学院 基礎工学研究科 助教

研究課題：

「光・電子相関顕微鏡法のためのプローブ開発
細胞イメージング応用」

＜風戸研究奨励賞＞ 斉藤 光 様



東京工業大学
量子ナノエレクトロニクス研究センター 研究員

研究課題：

「STEM-CL によるプラズモン共振器中の
発光増強機構の解明」

記念写真



懇親パーティー



風戸研究奨励会
理事 田中 通義

挨拶

受賞者へのお祝いの言葉と、今日における最先端科学技術の礎となった風戸健二氏と伊藤一夫氏の功績に想いを馳せ、電子顕微鏡分野の更なる発展に期待していると述べました。

ご祝辞

受賞者へのお祝いの言葉と、国際顕微鏡学会連合としても今後の若手研究者の活躍に期待していると述べられました。

公益社団法人日本顕微鏡学会
副会長 古屋 一夫 様



乾杯

受賞者へのお祝いの言葉と、日本電子の社業を盛り立てることで風戸氏の思いを引き継ぎ、これからも若手研究者を支援していきたいと述べられました。

日本電子 代表取締役社長 栗原 権右衛門 様





ご歓談

多くの方々にご参加頂きました。



中締め

受賞者へのお祝いの言葉がありました。今後も良い研究をし、風戸賞・風戸研究奨励賞の素晴らしさを確立して欲しいと、受賞者への期待の言葉を述べました。

風戸研究奨励会

監事 高柳 邦夫